

電動式の手動切り替え操作

停電などの発生により、電動シャッターが操作できない事態が発生した場合は、シャッターを手動操作に切り替えて使用できます。



警告

3～17ページの警告事項・注意事項を守って使用してください。

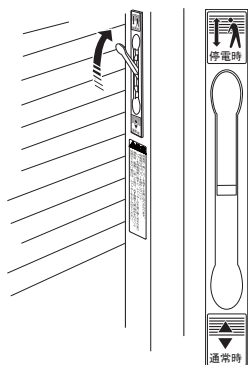
これらを守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。

注 記

- 停電等の緊急時以外は切り替え操作をしないでください。
- シャッターの下に、人や物がいないことを確認してから操作してください。
- 停電時、手動に切替操作する際に、シャッターが急に上昇、下降する場合があります。
手動切替操作する際には、シャッターカーテンを抑えながら切替操作してください。
- 手動操作のままでは、シャッターが開いてしまうため手動操作後は、必ず電動操作に戻してください。

電動操作→手動操作の切替え方法

- 1 手動切替装置のレバーをゆっくり引き上げ、停電時側に移動させてください。

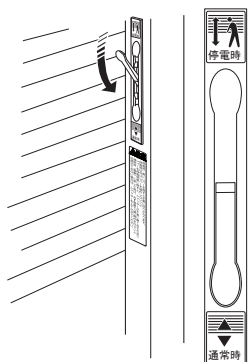


- 2 シャッターを手動で静かに動かします。



手動操作→電動操作の切替え方法

- 1 手動切替装置のレバーをゆっくりと引き下げ、通常時側に移動させてください。



- 2 シャッターを静かに動かし、手動で動かないことを確認してください。動く場合は、レバーを一度停電時側に戻し、再度通常時側に引き下げてください。



- 3 45 ページの「全閉位置・全開位置の再設定」の手順にしたがって再設定を行ってください。

全閉位置・全開位置の再設定

手動操作から電動操作に戻したときに全閉位置や全開位置が変わっている場合があるため、次の操作をおこなってください。

※再設定が完了するまで、3秒おきにブザーが鳴ります。

1

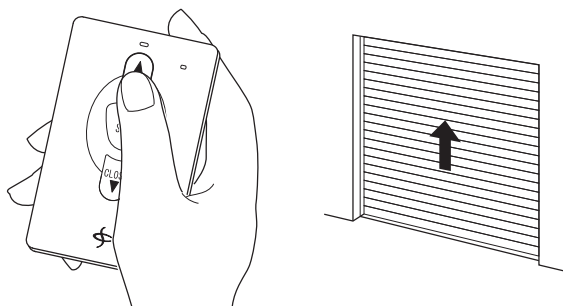
開ボタンを押して、シャッターを全開させてください。

一旦下がる動作をしたあと、シャッターが全開まで動作します。

※シャッターが全開で停止するまで、開閉操作しないようにしてください。

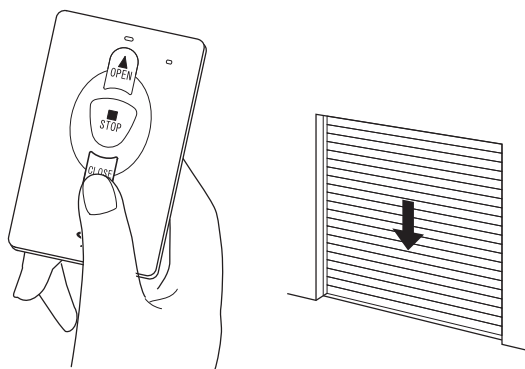
※手動操作から電動操作に戻したときに、全開になるまで、閉ボタンは一旦操作不能となります。必ず開ボタンを押して下さい。

※シャッターが全開状態の場合でも、開ボタンを押してください。



2

閉ボタンを押して、シャッターが全閉位置で停止することを確認してください。



8. 修理のご案内

修理のご用命は ATSS へ——

突然のシャッターや窓シャッターの故障。そんな時は、文化シャッターサービス株式会社のATSS=アットタイムサービスシステムをご利用ください。フリーダイヤルひとつで365日素早く対応いたします。

アットタイムサービスシステム

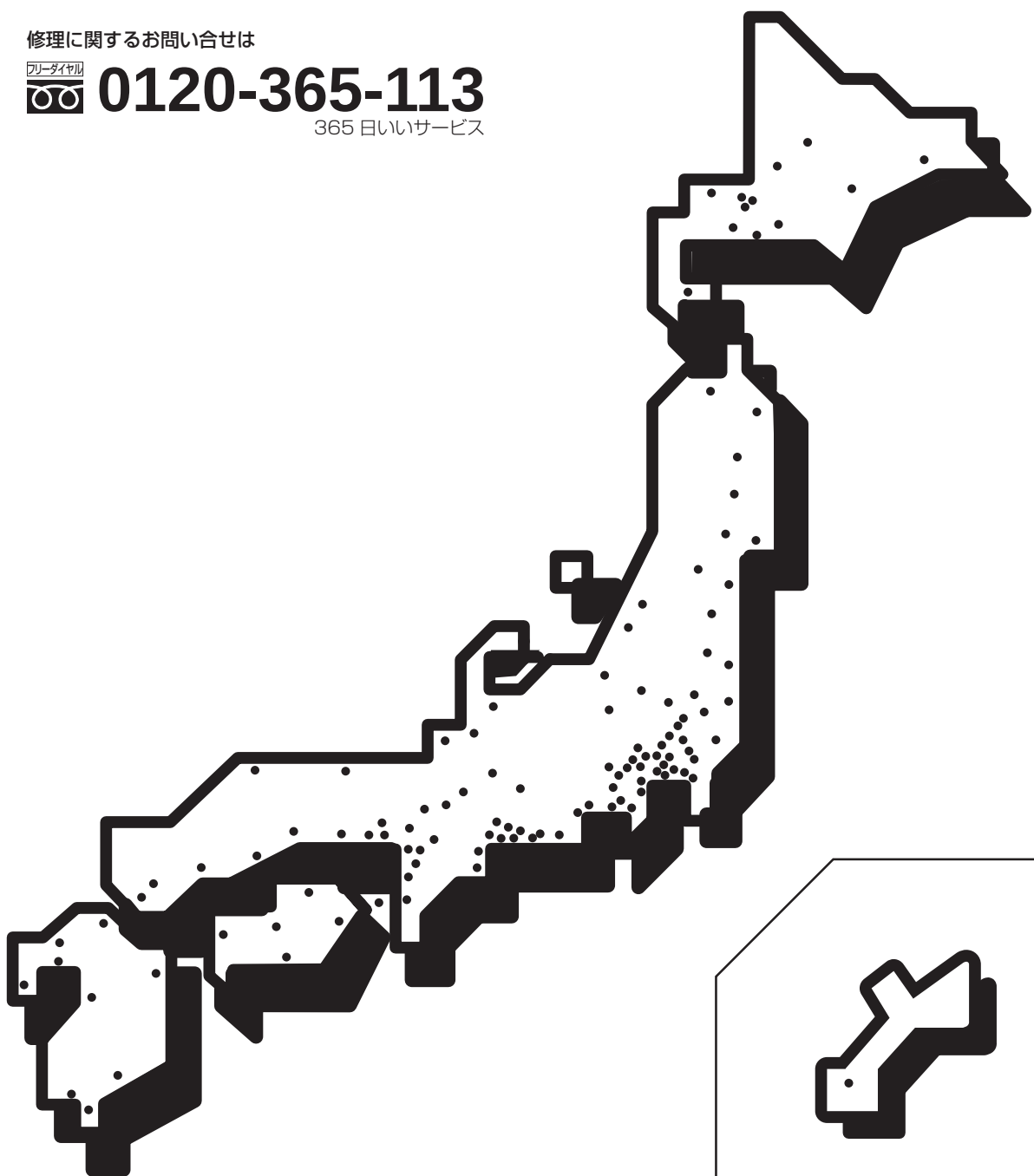


修理に関するお問い合わせは



0120-365-113

365 日いいサービス



基本的な注意



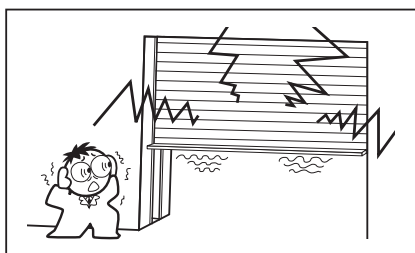
警告

次の警告事項を守って使用してください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。



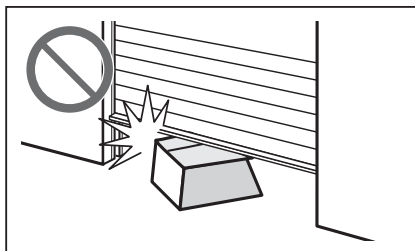
電動式 手動式

製品を長期間に渡って安全に使用するためには、定期点検と定期的な部品交換が必要です。61 ページをご覧ください、必ず実施してください。



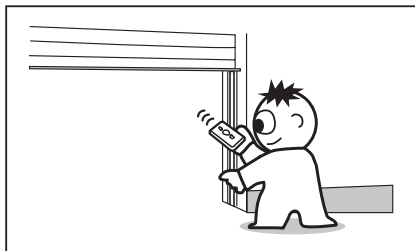
電動式 手動式

63 ページ記載「7. 故障かなと思ったら」にもあてはまらない異常な動作をしたり、異常な音がした場合は、ただちに使用を中止して64 ページ記載の文化シャッターサービス株式会社に修理をご依頼ください（有償）。



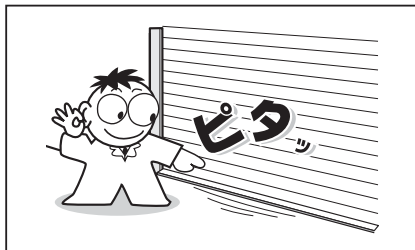
電動式 手動式

シャッターの下で立ち止まったり、車を止めたり物を置かないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。



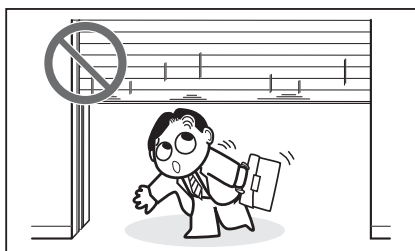
電動式 手動式

開閉操作をする際は、シャッターの下に人がいないこと、物がいないことを確認してから操作してください。



電動式 手動式

シャッターが完全に閉まるまで、シャッターのそばを離れず、目を離さないようにしてください。
第三者がシャッターにはさまれる場合があります。



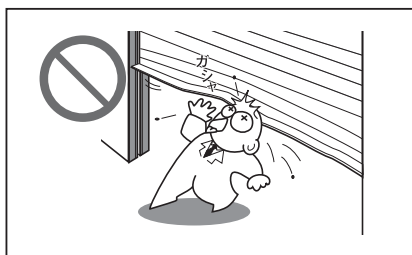
電動式 手動式

シャッターが動いているときに人や車の出入りをしないでください。



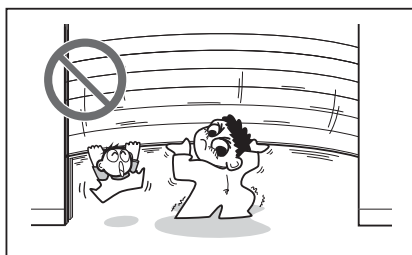
警告

次の警告事項を守って使用してください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。



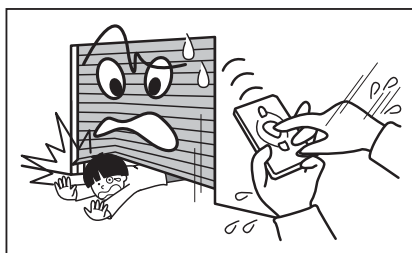
電動式 手動式

シャッターが完全に開いてから通行してください。完全に開けずに通行すると、ぶつかってケガをしたり、車に傷がつくなど物を破損するおそれがあります。また、不意にシャッターが降りて思わぬケガや事故になる場合があります。



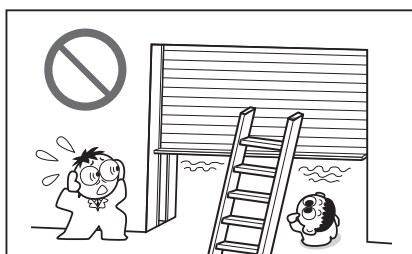
電動式 手動式

シャッターが動いているときは、手で止めようとしたり、ぶらさがったり、カーテンやレールに指をかけるなど、シャッターに触らないでください。シャッターが故障したり、はさまれたりするなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。



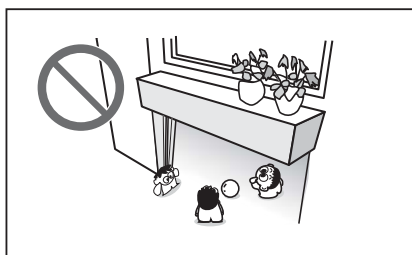
電動式

シャッターを閉めているときに開けたい場合は一旦「STOP（停止）」スイッチを押してから、開ける操作をしてください。「STOP（停止）」スイッチを押さないとシャッターは閉まりつづけます。



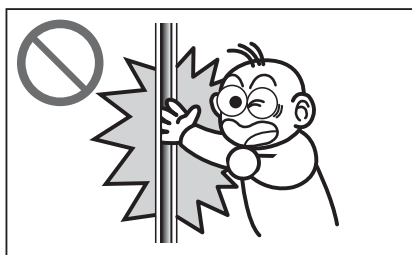
電動式 手動式

シャッターに物を立てかけないでください。物を立てかけたまま開閉すると、物が倒れてくるなどして思わぬ事故になる場合があります。



電動式 手動式

製品の上に物を置かないでください。風やシャッター開閉中の振動などで物が落下し、思わぬ事故になる場合があります。



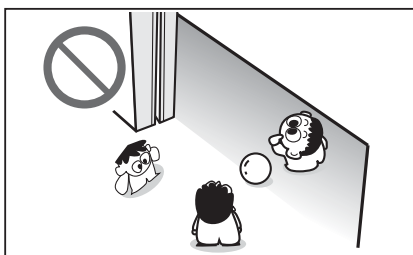
電動式 手動式

ガイドレールの溝など、部材のすき間や、動く部分に手や指を近づけたり、入れたりしないでください。思わぬけがをする場合があります。



警告

次の警告事項を守って使用してください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。



〔電動式〕〔手動式〕

シャッターの下やその付近で子どもを遊ばせないでください。

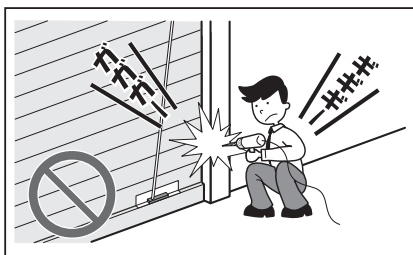
思わぬけがをする場合があります。



〔電動式〕

子供には、セレカード、セレクルーズや押しボタンスイッチを操作させないでください。

子供や第三者が誤ってはさまれるおそれがあります。シャッターを使用しない場合は、押しボタンスイッチに鍵をかけてください。



〔電動式〕〔手動式〕

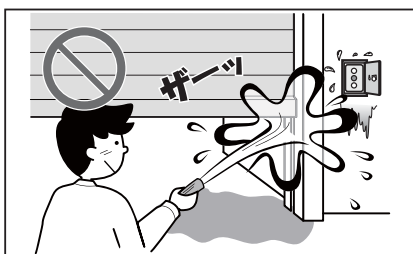
ガイドレールやボックス部など、製品にビス止めしたり釘を打ちつけないでください。また、物をぶついたりしないでください。

故障の原因となったり、配線などが傷つき、本来の機能が発揮できなくなったり、漏電したりするおそれがあります。



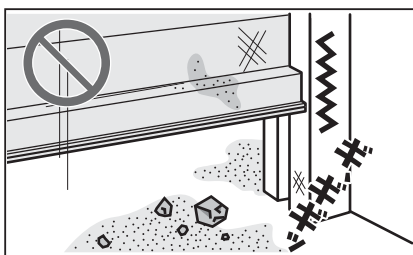
〔電動式〕〔手動式〕

製品の日常点検以外の点検・修理には専門知識が必要なので、当社の手配によらない分解・改造・修理は絶対にしないでください。分解等によりその他の部分にも故障が生じたり破損が発生するおそれがあります。製品の点検・修理等が必要な場合は64ページ記載の文化シャッターサービス株式会社にご依頼ください（有償）。



〔電動式〕〔手動式〕

製品に水をかけないでください。汚れたときなどは、58ページに記載してある「5. お手入れ方法」にしたがって清掃してください。製品に水をかけるとサビの発生や消耗が促進されたりします。また電装品が漏電して、勝手に動作したり感電するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



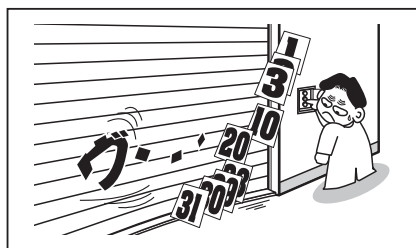
〔電動式〕〔手動式〕

水切りや周辺の床はいつも清掃してください。水切りの隙間に泥や小石が詰まると正常に作動しない場合があります。



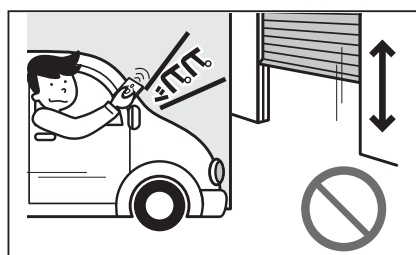
警告

次の警告事項を守って使用してください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。



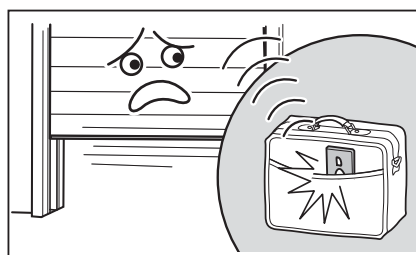
電動式 手動式

少なくとも1ヵ月に1回は開閉してください。長期間使用しないと、サビをはじめとした不具合が生じる場合があります、それを無理に動かすと思わぬ事故につながるおそれがあります。



電動式

シャッターの見えないところから操作しないでください。人や車などがはさまれて、生命にかかわる事故になる場合があります。

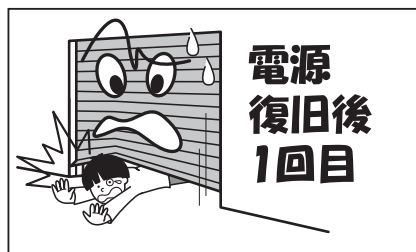


電動式

セレカード、セレクルーズをカバンや服のポケットの中に入れるときは、スイッチにカバンやポケットの中の物などがあたらないようにしてください。

スイッチに物があたると、意図せずシャッターが動き出す場合があります。

セレカード、セレクルーズの誤操作防止のため、セレカード3点式は、2回押し操作でお使いすることを推奨しています。ご購入時は「2回押し」に設定されています。



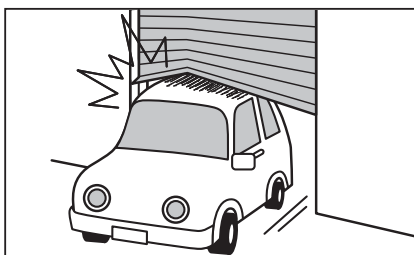
電動式

停電などでシャッターの電源が切れた場合、復旧後の1回目の開閉操作に限り、障害物感知装置が効きにくくなる場合がありますので、開閉操作には、特にご注意ください。



注意

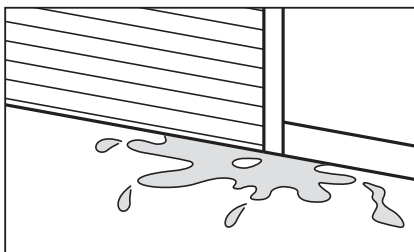
次の注意事項を守って使用してください。注意事項を守らないとけがや事故につながるおそれがあります。



電動式

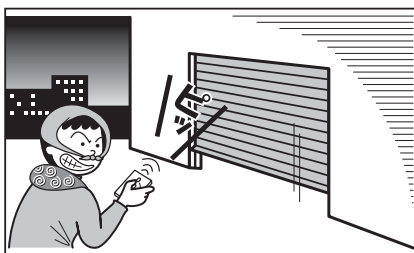
万一シャッターに障害物がはさまれた状態で停止した場合にはセレカード、セレクルーズ操作もしくは押しボタンスイッチにより、一旦シャッターを開けてから障害物を取り除いてください。開かない場合は、64 ページ記載の文化シャッターサービス株式会社にご連絡ください。

はさまった状態で無理に取り除くとけがをしたり、シャッターや障害物が破損する場合があります。



電動式 手動式

シャッターの内側に水が入ってくる場合があるので、濡れて困るものをシャッターの近くに置かないでください。



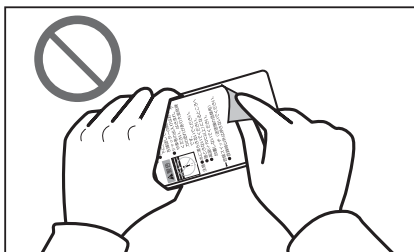
電動式 手動式

セレカード、セレクルーズや鍵は紛失しないようご注意ください。

第三者によってシャッターを開けられるおそれがあります。

セレカード、セレクルーズを紛失した場合は、51 ページをご覧ください、紛失したセレカード、セレクルーズの ID コードを抹消してください。鍵を紛失した場合は、鍵本体の交換をおすすめします。

鍵本体の交換は 64 ページ記載の文化シャッターサービス株式会社にご依頼ください(有償)。



電動式

セレカード、セレクルーズ裏面の技術基準適合証明(表示ラベル)(リモコン裏蓋に貼ってあるラベル)ははがさないでください。

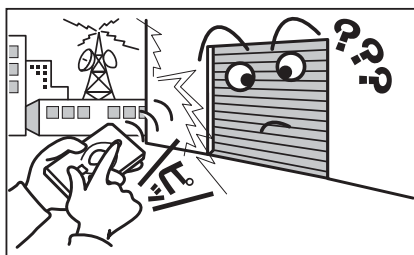
セレカード、セレクルーズ裏面の技術基準適合証明(表示ラベル)のないものは使用が禁止されています。



電動式

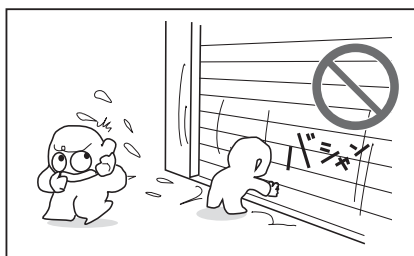
セレカード、セレクルーズの海外での使用は絶対にしないでください。外国の電波法に準じていません。

! **注意** 次の注意事項を守って使用してください。注意事項を守らないとけがや事故につながるおそれがあります。



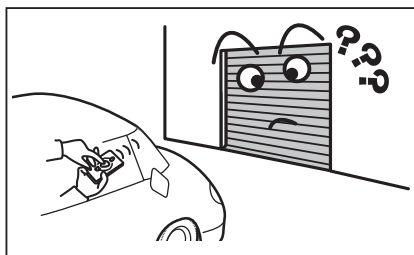
電動式

テレビ・ラジオの送信所近辺などの強電界地域でセレカード、セレクルーズを使用した場合、到達距離が短くなったり、正常に動作しないことがあります。



手動式

シャッターはゆっくりと静かに開閉してください。急な開閉ををすると、人にぶついたり、シャッターについた雨水が飛び散り衣服などを汚すおそれがあります。



電動式

フロントガラスに熱反射ガラスを使用している車は、電波の透過性が低いいため、到達距離が短くなる場合があります。

車の中から操作する場合は、十分に注意してください。

また、アンテナ（別売）を設置することで、改善される場合がありますので、64 ページに記載してある文化シャッターサービス株式会社にご依頼ください（有償）。

注 記

次の注意事項を守って使用してください。注意事項を守らないと本製品に故障が発生したり、性能が発揮できない場合があります。

<故障防止について>

- 本製品の分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造は電波法で禁止されています。
- セレカード、セレクルーズを水に浸けないでください。水の中に入れると内部まで浸水して故障の原因になります。
- セレカード、セレクルーズを落としたり、乱暴に取り扱わないでください。
- セレカード、セレクルーズを車のダッシュボード、直射日光下で高温になるところ、湿気の多いところ、極端な温度になるところ（70℃以上または－20℃以下）に放置しないでください。
- 冬期に床面の水分が凍結して水切りが床に凍りついた場合は、水切り付近の氷を砕いてから開放操作してください。
- 雷の音が鳴り出したら早めにシャッターの電源（コンセントまたはブレーカー）を切ってください。
落雷の大きさによっては動作しなくなるおそれがあります。

<誤動作について>

- セレカード、セレクルーズに強い磁気を近づけないでください。セレカード、セレクルーズ内部の電子部品が磁気により正常に動作しない場合があります。
- 電波式無線中継局からの強電界の電波がセレカード、セレクルーズに加わった場合、到達距離が短くなったり、正常に動作しないことがあります。また非常に強力な電波（不法CB等）がセレカード、セレクルーズに加わった場合、誤動作するおそれがあります。
- 静電気などの影響により正常に動作しない場合があります。
- 長期間使用されない場合は、電波障害等による誤動作を防ぐため、シャッターの電源を切ってください。

<保管・電池交換について>

- 長期間使用されない場合は、腐食防止のため電池を外してください。
- セレカード、セレクルーズはお子様の手の届かない安全なところに保管してください。
電池を飲み込んだり、誤った操作をして生命にかかわる事故になる場合があります。万一、電池を飲み込んだ場合には直ちに医師にご相談ください。
- 電池は分解、加工、充電、ショート、加熱、火中投入などしないでください。
液漏れ、発火、発熱、破裂の原因となります。
- 電池を破棄する場合はテープなどで巻いて絶縁してください。
他の金属や電池を混ぜると発火、破裂の原因となります。

セクルーズの使用に関する注意事項

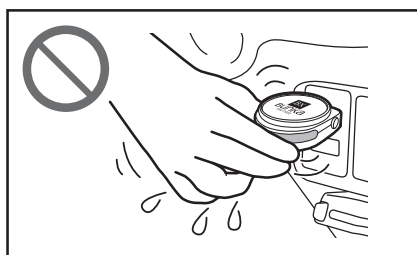


警告

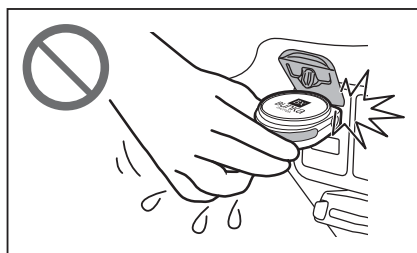
次の警告事項を守って使用してください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。



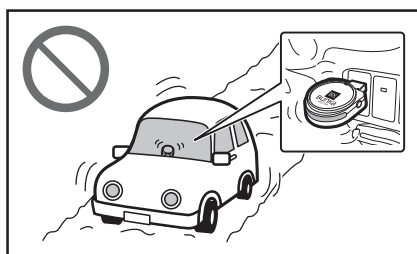
運転中にセクルーズの取り外しや操作をするのは、よそ見運転の元となり、大変危険です。停車してから操作を行ってください。



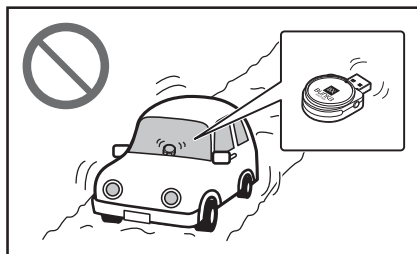
セクルーズの取り付けが困難な場合、または運転の妨げになる場合は、無理に使用しないでください。



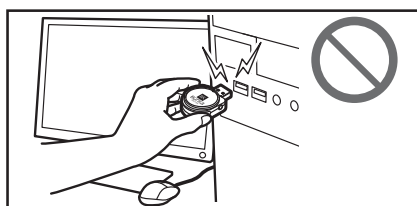
セクルーズ本体や電源スイッチが周囲と干渉する場合は、無理に使用しないでください。付属の USB 変換アダプターや USB 延長ケーブルを使用して干渉を避けて使用してください。干渉した状態で使用した場合、電源が OFF になり人や車がはさまれて生命にかかわる事故になる場合があります。



使用前や、使用中でも定期的に、セクルーズが車の USB ポートや電源ソケットに奥まで確実に差し込まれているかご確認ください。悪路走行や急ブレーキ等により、セクルーズと電源ソケットがゆるみ通電が確保できなくなる場合があります。接触不良の状態で使用した場合、セクルーズや車のヒューズなどの破損の原因になります。



走行中の振動により、USB ポートや電源プラグの先端キャップが緩む場合がありますので、定期的に増し締めしてください。

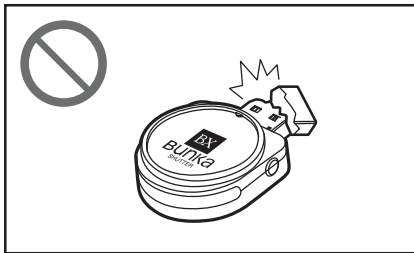


セクルーズは自動車専用です。車の電源ソケット以外での使用はおやめください。

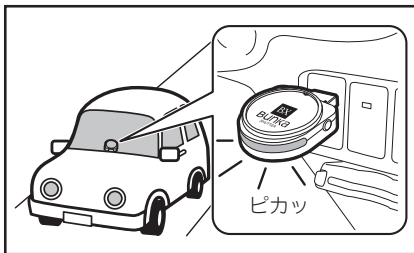


警告

次の警告事項を守って使用してください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。

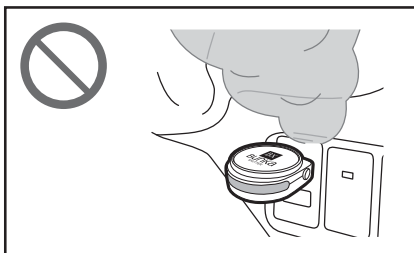


セレクトルーズの破損、故障、変形など不具合がある場合には、使用を中止してください。不具合がある状態で使用すると、接続不良により意図せずシャッターが降下し、思わぬ事故になるおそれがあります。

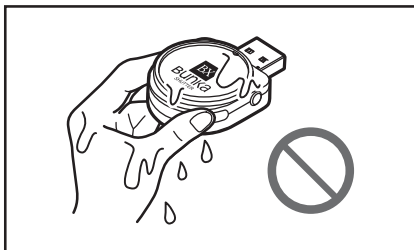


自動モードで入出庫する際にはセレクトルーズがしっかりと挿入されていることを確認してください。また、送信ランプが点灯していることを確認してください。

消灯している場合はセレクトルーズの自動信号が停止していますので、意図せずシャッターが降下し、思わぬ事故になるおそれがあります。



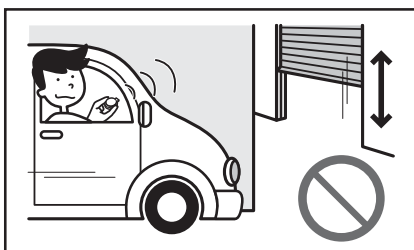
煙が出る・焦げくさい臭いがするなどの兆候が見られたら、直ちに使用を中止してください。



濡れた手での使用や、水気およびホコリが付着したままの使用はおやめください。



セレクトルーズの分解・改造などはおやめください。セレクトルーズおよび車の故障・破損の原因となります。当社は一切の責任を負いかねます。

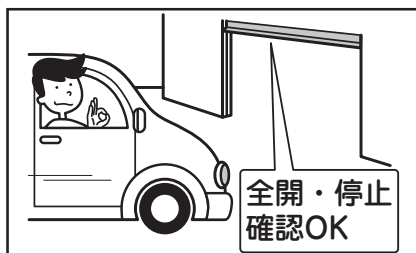


シャッターが見えないところからは操作しないでください。人や車などがはさまれて生命にかかわる事故になる場合があります。

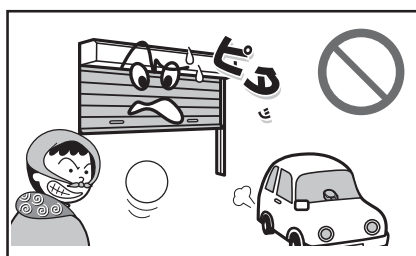


警告

次の警告事項を守って使用してください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。



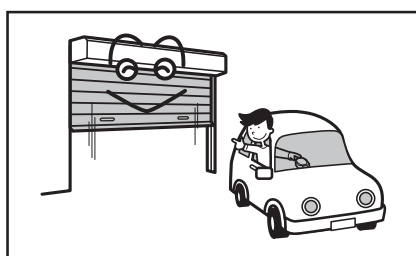
ガレージに車を入庫する際は、必ず運転者自身がシャッターが全開していること・停止していることを確認してから入庫してください。入庫中にシャッターが降下し、思わぬ事故になるおそれがあります。



シャッターが閉まる際に障害物感知装置が作動した場合、反転上昇し、全開したままになり、盗難などにつながる可能性があります。また、自動モードで出庫し、車両がシャッターから離れて自動信号を受信なくなると、約30秒後にシャッターが閉まります。シャッターの降下が目視できない場合や、車庫内に貴重品などがある場合には、セレクルーズの操作スイッチを押してシャッターを閉めてください。(36 ページ「操作スイッチでのシャッター操作」を参照してください。)



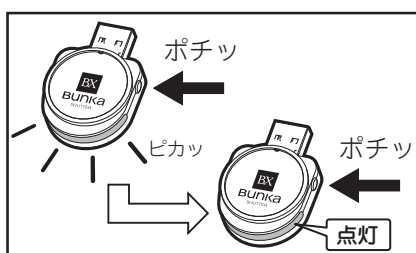
シャッターが動いているときに、人や車の出入りはしないでください。はさまれて生命にかかわる事故になる場合があります。



開閉操作をする際、シャッターの下に人がいないこと、物がいないことを確認してください。シャッターにはさまれて、生命にかかわる事故になる場合があります。



子どもにはセレクルーズを操作させないでください。子どもや第三者が誤ってはさまれる場合があります。

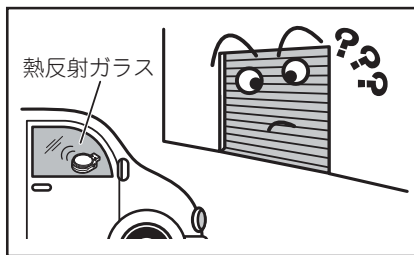


シャッターを閉めている時に開けたい場合は一旦操作スイッチを押した後、送信ランプがゆっくり点滅したことを確認してから、もう1回操作スイッチを押してください。(29 ページに記載してありますスイッチ操作モードを参照してください。)



警告

次の警告事項を守って使用してください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。

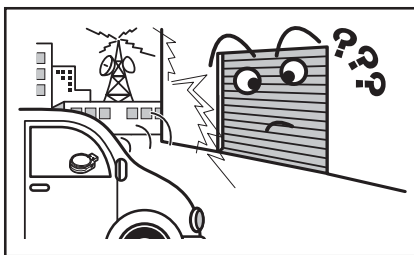


車両に電波の透過性が低いガラス（熱反射ガラス等）が使われている場合、自動信号の到達距離が短くなる場合があります。

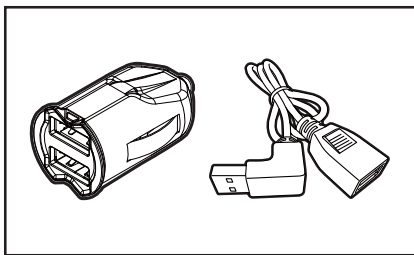
この場合、自動モードでセレクルーズの送信ランプが点灯していても、自動信号をシャッターが受信できていないおそれがあります。

入出庫時に自動信号をシャッターが受信できていない、あるいは受信が途切れた場合、全開状態であれば、約 30 秒後にシャッターが降下し始めますので、思わぬ事故につながる場合があります。

自動モードでシャッターに近づいても開かないなどが確認された場合にはアンテナ（別売）を設置することで改善される場合がありますので、最寄りの文化シャッター営業所にご依頼ください。

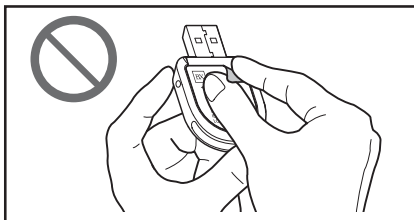


テレビ・ラジオの送信所近辺などの強電界地域でセレクルーズを使用した場合、到達距離が短くなったり、正常に動作しないことがあります。このような場所ではセレクルーズを使用する際にはご注意ください。



USB 変換アダプタや USB 延長ケーブルを使用する際には、必ずセレクルーズに同梱されている付属品を使用してください。

付属品以外の USB 変換アダプタや USB 延長ケーブルを使用すると、接続不良により意図せずシャッターが降下し、思わぬ事故になるおそれがあります。

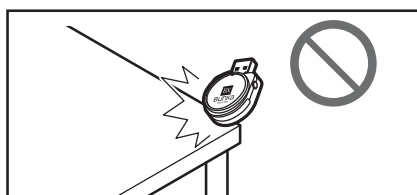


セレクルーズの技術基準適合ラベル（本体裏面に貼ってあるラベル）をはがさないでください。ラベルのない製品は使用が禁止されています。

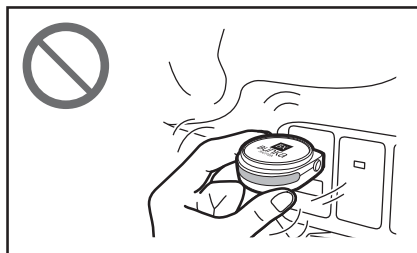


セレクルーズの海外での使用は絶対にしないでください。外国の電波法に準じていません。

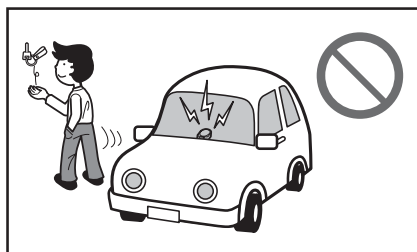
! **注意** 次の注意事項を守って使用してください。注意事項を守らないとけがや事故につながる場合があります。



落としたり、叩いたり、強いショックを与えないでください。

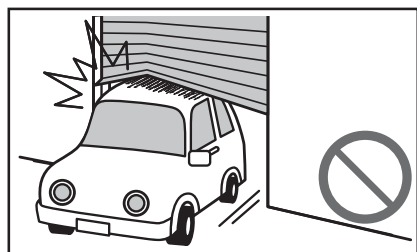


セレクルーズを USB ポートや電源ソケットから抜く際は、USB ポートや電源ソケットに対して必ず水平にゆっくり抜いてください。回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。



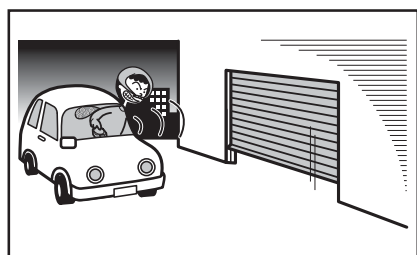
車のキーを抜いても、USB ポートや電源ソケットの電源が OFF にならない、または送信ランプが消灯しない車種は、バッテリー上がりのおそれがあります。

降車時に、セレクルーズの電源スイッチをオフにするか、セレクルーズを USB ポートや電源ソケットから抜いてください。

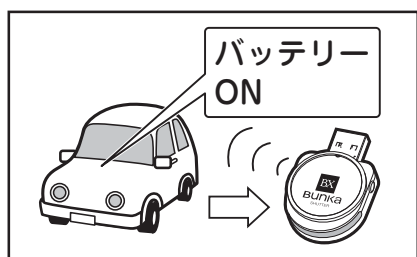


万一シャッターに障害物がはさまれた状態で停止した場合には、セレクルーズ、セレカード、または押しボタンスイッチでスイッチ操作をして、一旦シャッターを開けてから障害物を取り除いてください。開けられない場合は、64 ページ記載の文化シャッターサービス株式会社にご連絡ください。

はさまった状態で無理に取り除くとケガをしたり、シャッターや障害物が破損する場合があります。



セレクルーズを紛失しないようご注意ください。第三者によってシャッターを開けられるおそれがあります。



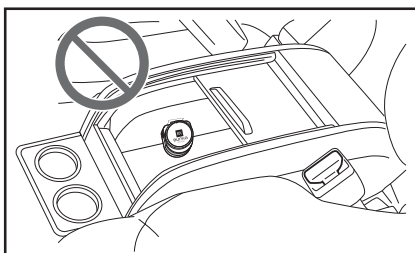
セレクルーズは、電源スイッチが ON の状態でエンジンをかける等、車のバッテリーから電気が供給されると、シャッターを開けるための自動信号が発信される装置です。

エンジンスターターや車に付随する機能でエンジンが ON / OFF される場合も、同様に作動します。



注意

次の注意事項を守って使用してください。注意事項を守らないとけがや事故につながる場合があります。



セレクルーズはコンソールボックスの中でなく、USB 延長ケーブルでコンソールボックスの外に出すなどして、すぐに操作できる場所に置いてください。



シャッターの下で、車のエンジンを切ったり、セレクルーズの電源スイッチや操作スイッチを操作しないでください。不意にシャッターが降下し、車がシャッターに挟まれる場合があります。



セレクルーズとセレカード（リモコン）を別々の車や別々の方が使用する場合、車とシャッターの接触事故を防止するため、セレカード使用者は必ずガレージを出入りする際（シャッターの下を通る際は、シャッターが全開状態であっても停止ボタンを押してから出入りしてください。万が一、別の車のセレクルーズの信号でシャッターが空いていた場合、自動で閉まるおそれがあります。

注 記

次の注意事項を守って使用してください。注意事項を守らないとセレクルーズに故障が発生したり、性能が発揮できない場合があります。

<故障防止について>

- セレクルーズの分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造は電波法で禁止されています。
- セレクルーズを水に浸けないでください。水の中に入れると内部まで浸水して故障の原因になります。
- セレクルーズを落としたり、乱暴に取り扱わないでください。
- セレクルーズを車のダッシュボード、直射日光下で高温になるところ、湿気の多いところ、極端な温度になるところ（70℃以上または－20℃以下）に放置しないでください。

<誤動作について>

- セレクルーズに強い磁気を近づけないでください。内部の電子部品が磁気により正常に動作しない場合があります。
- 電波式無線中継局からの強電界の電波がセレクルーズに加わった場合、到達距離が短くなったり、正常に動作しないことがあります。また非常に強力な電波（不法CB等）がセレクルーズに加わった場合、誤動作するおそれがあります。
- 静電気などの影響により正常に動作しない場合があります。

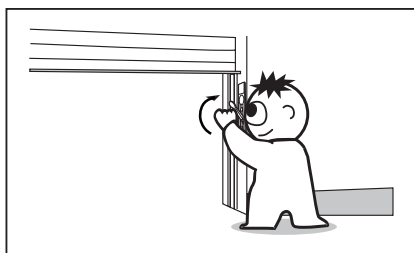
スマートタイプの使用に関する注意事項

！ 警告 次の警告事項を守って使用してください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。

- シャッターが見えないところから開閉操作を行う場合や、開閉タイマー設定をしている場合は、人・物などがはさまる、動き出したシャッターに驚いて転倒する等、おもわぬ事故につながるおそれや、防犯効果の低下につながるおそれがあることをご理解いただいた上で操作してください。
- シャッターが見えない場所から開閉操作する場合には、事故防止のためにも遠隔監視カメラ（社外品・お客様用意）等、シャッター近傍や周囲の状況を把握しながら開閉操作ができるようにする設備・機器を設置して、使用することを推奨します。

停電時の操作方法に関する注意

！ 注意 次の注意事項を守って使用してください。注意事項を守らないとけがや事故につながるおそれがあります。



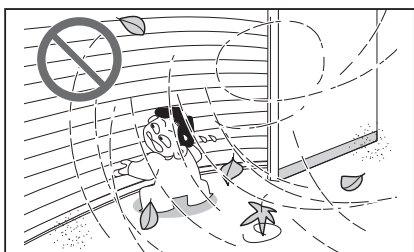
（電動式）

停電など非常時に手動操作に切り替えた場合、必ず電動操作にもどしてください。

手動操作のままにしておくと、シャッターを手で開けることができるため盗難のおそれがあります。

強風時の注意

！ 警告 次の警告事項を守って使用してください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。



（電動式）（手動式）

台風などの強風時にはシャッターに近づいたり動かしたりしないでください。シャッターが外れて人や物にあたる場合があります。

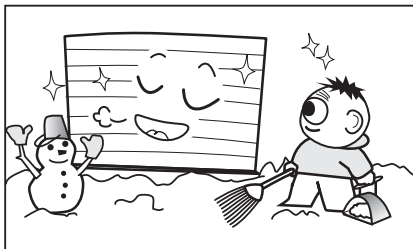
なお、強風でシャッターが外れた場合は、64ページ記載の文化シャッターサービス株式会社に修理をご依頼ください（有償）。

厳寒時の注意



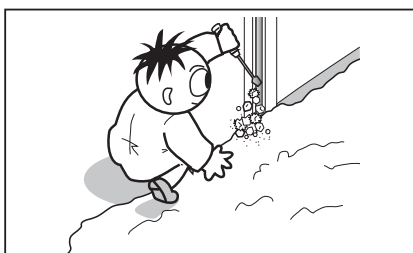
警告

次の警告事項を守って使用してください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。



電動式 手動式

カーテン表面や水切りの凍結・着雪を取り除いてから使用してください。カーテンが凍結したり、着雪した状態ではカーテンを正常に巻き取れない場合があります。



電動式 手動式

ガイドレール内の雪や氷は、取り除いてから使用してください。無理に開閉しようとする、思わぬケガをする場合があります。



電動式 手動式

厳寒時にシャッターを開けた場合は、速やかに閉めてください。

シャッターを開けたままにすると、カーテンが凍結し、凍結したシャッターを閉めようとする、カーテンから氷が外れ、シャッターが急に閉まる場合があります。シャッターが異常な動作をしたり、異常な音がする場合は、64 ページ記載の文化シャッターサービス株式会社にご連絡ください（有償）。